

中学生海外派遣 研修レポート②

先月号に引き続き、参加者の報告をご覧ください。

多くの人とのお出合い

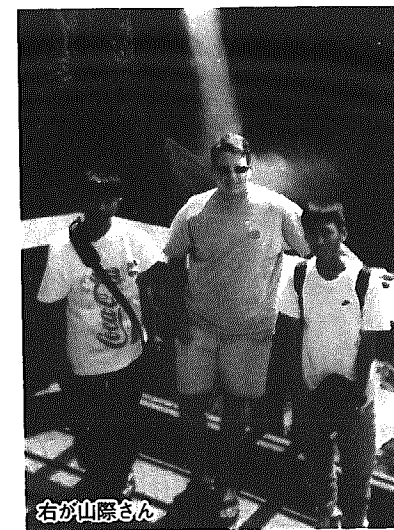
山際 健司（立仏第一）

僕がこの「十二日間のカナダの旅」に参加して一番良かったのは、多くの人とのお出合いを通して、素晴らしい友達とめぐり合うことができたことです。そして、日本を離れることにより、改めて、日本の良いところを自分なりに発見できたことや、普通では行くことができない外務省やカナダの総領事館などに行くことができたことです。カナディアンロッキーの大水原などの大自然の雄大さを自分自身の肌で感じることもできて、とても感動しました。

ジュニア大使は、黒崎町、三条市、岐阜県、愛知県、埼玉県、東京都からの小学五年生から中学三年生までの男女三十名の参加で行われました。僕にとってとにかく初めての体験の連続でした。

事前研修では、長い話しを聞いたりにしているうちにだんだん気が重くなってきました。でも、食事マナーと夜のホテルは違いました。食事マナーの時間では、自分をアピールすることができました。夜のホテルでは、三人部屋で色々楽しく語り合っていていたせいか、僕ともう一人がいびきをかいてしまいました。

生まれて初めて飛行機に乗ることができて感激しました。カナディアン航空でバンクーバーまで約八時間の旅です。機内食が二回出され、あと、映画が二本ありました。僕の座席の両側に事前研修で仲良くなった友達がいなかったたので、ちょっと残念でした。



右が山際さん

第一印象深かったのは、コロナビ大水原です。理由は、まわりがすごく暑いのにその大水原の場所だけは涼しいし、この暑い夏に水にさわったり、冷たい水を飲んだりできたからです。とにかく、カナディアンロッキーの大水原などのすばらしさはカナダに行ってみてこないといわれないと思います。

八月七日、日加友情交流会およびホストファミリーとの対面です。交流会では二組に別れてカードが配られました。同じカードの人と話しをするのです。僕と話すのは小学三年生くらいの子供でした。幸い始めのほうは、この研修中に仲良くなった英語の上手な野村君がいたのでよかったです。後のほうでいなくなつたので、僕の頭の中は「△×△□△?！」、まあ、ようするにパニックだったのです。カナダの人の言っている言葉はさっぱり聞きとれません。ようやくその時間が終わりました。

その後、僕と岐阜から参加の川添君とホストファミリーで、ホストファミリーの家へ行きました。ホストファミリーは子供がいなくて夫婦で、事前の手紙でわかっていましたが、何と去年結婚したばかりの新婚さんでした。二十才のクリスティーさんと二十四才のデイブさんのご夫婦でした。もちろん日本語は全然話すことができないので、会話は全部英語でした。でも僕は英語がとても苦手だったので、川添君が会話をリードしてくれました。とても心強かったです。でも、身振りや手振り



コロナビ大水原

り、僕はほっとしました。そしてその後、催し物や国歌、剣道、踊りなどを楽しみ、ホストファミリーと一緒に折り紙などをやって、最後にみんなで歌を歌って終わりました。

その後、僕と岐阜から参加の川添君とホストファミリーで、ホストファミリーの家へ行きました。ホストファミリーは子供がいなくて夫婦で、事前の手紙でわかっていましたが、何と去年結婚したばかりの新婚さんでした。二十才のクリスティーさんと二十四才のデイブさんのご夫婦でした。もちろん日本語は全然話すことができないので、会話は全部英語でした。でも僕は英語がとても苦手だったので、川添君が会話をリードしてくれました。とても心強かったです。でも、身振りや手振り

で心が通じることがわかりとてうれしかったです。ホストファミリーは、アウトドアが趣味ということで、大きな森林公園や大きな滝へ連れて行ってもらいました。友人の家のプールで泳いだり、庭先で僕の好きなバーベキューをしてもらったりして楽しかったです。三日間という間は、長いようで短いひとときでした。そしてホストファミリーに別れを告げ、次の目的地、ワイルドドライブパークに向かいました。

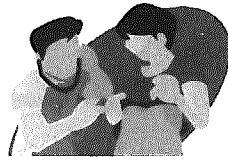
旅も終わりに近づいてきました。カナダのご飯ばかり食べていると日本食（特にみそ汁）がとても恋しくなります。自分でも言うのも変だけど日本人なんだなあと思いました。

いよいよ日本に帰国します。日本上空にきた時、出発の時は感じなかったこと、なんて日本はこんな狭いところにごちゃごちゃしているのだから、と感じました。まだまだ僕の知らない、広い世界があるんだろうと思いました。

帰ってから一緒に行った仲間から手紙をもらい、僕が一番仲良くなった友達からの手紙の中には、「君と楽しい旅ができて本当に良かった。」とあり、改めてすばらしい体験ができたな、と思いました。そして最後まで僕たちを支えて心配してくれた多くの方々に感謝します。ありがとうございました。

人間・脳ドックの申し込みを受け付けます

問い合わせ 保健衛生課 ☎377-3101 内線125



満40歳から65歳までの方(昭和8年4月2日から昭和34年4月1日生)を対象に11月の1か月間、人間ドック及び脳ドックを実施します。

	白根健生病院	新潟県労働衛生医学協会	新潟県健康管理協会	緑の丘診療所	新潟脳外科病院
実施期間	11月1日から11月30日まで				
健診予定日	火曜日と木曜日 (ただし、11/3・24は除く)	月曜日から土曜日 (ただし、11/3・14・23・28は除く)	毎日 (ただし、11/1・2・3・8・9・15・22・23・28・29は除く)	月曜日から土曜日	月曜日から土曜日
受診対象者	① 満40歳から65歳までの人(昭和8年4月2日から昭和34年4月1日までの生まれ) ② 国民健康保険被保険証の資格を得て1年以上経過した人 ③ 国保加入者で国保税を完納している人				
費用 (消費税込)	総額		バリウム 37,800円	内視鏡 39,900円	
	個人負担	3割	11,340円	11,970円	
		2割 ※1	7,560円	7,980円	
	ただし、「緑の丘診療所」及び「新潟脳外科病院」については、バリウムの料金で実施します。				
健診内容	人間ドック 一般計測、呼吸器系、循環器系、腎機能検査、消化器系、肝機能検査、血液検査など。ただし、婦人科検診につきましては、実施の有無・料金等各医療機関により異なりますので、窓口で申し込みの際、確認されるようお願いします。			脳ドック 脳ドック検査のみ (人間ドックの内容と異なります)	
日程	午前:健診 午後:検査結果に基づき医師の問診指導				
送迎	新潟県労働衛生医学協会(健診予定日の一部の日に限る)と新潟脳外科病院は送迎しませんので、直接病院へ行ってください。なお、上記医療機関以外で検診当日の車の送迎を希望される方は、役場前から出発します。				
申込期間	10月19日(月)から11月13日(金)まで				
申し込み	受診希望者は11月13日(金)までに印鑑と保険証を持参のうえ、保健衛生課国保係まで申し込んでください。申請書は窓口を用意してありますので、健診予定日と健診機関等を指定してください。				

注) ・今年度から実施する脳ドックは新潟脳外科病院に限り受け付けます。なお、新潟脳外科病院での人間ドックは実施しません。
・5月、6月にドックを受けられた方は、今回対象外とさせていただきます。
・受診者の人数等により希望月日を変更していただく場合があります。
・申し込み後は、ドックを希望された各健診機関から連絡がいきます。

※1 節目に該当する人
40歳(昭和33年4月2日から昭和34年4月1日までの生まれ)、55歳(昭和18年4月2日から昭和19年4月1日までの生まれ)
45歳(昭和28年4月2日から昭和29年4月1日までの生まれ)、60歳(昭和13年4月2日から昭和14年4月1日までの生まれ)
50歳(昭和23年4月2日から昭和24年4月1日までの生まれ)、65歳(昭和8年4月2日から昭和9年4月1日までの生まれ)